

札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト

～動物園・水族館を学びの場に～

主催：北海道地方ESD活動支援センター（EPO北海道）、札幌市円山動物園

ねらい

- 数十万人の来訪者、スタッフの専門性、ネームバリューなど、園の強みを活かし、生息地の環境変化や気候変動を伝えていく
- 環境、サステナビリティについての対話・学びの場としての動物園の役割を定着させていく



2023年度の取り組み

- 有識者によるワークショップ（全3回）
- 動物園の魅力、可能性、取り組みのアイデアを整理
- ESD地域フォーラムを開催して成果を発信



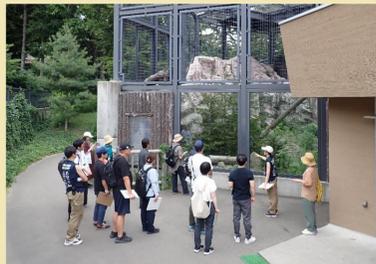
第18回アースデイin円山動物園「気候変動対策～私たちにできること～」（5/18～19）への出展

- 実行委員会が主催する、動物園の動物や円山の自然から「人と動物、環境とのつながり」を感じ、地球のことを考え行動することを目的としたイベント
- プロジェクトを来園者に紹介し、参加者と交流



学校教育との連携 動物園における気候変動教育を考える 教員ワークショップ（8/6・非公開）

- 学校教育から見た「学びの場としての動物園」を検討
 - 札幌市環境副教材作成ワーキンググループメンバー（小学校教諭7名）、札幌市教育委員会、札幌市環境政策課が参加
 - 園内ガイドツアーの後で動物を切り口とするESDの可能性や副教材への反映を検討
- ⇒ 副教材における動物園の取り上げ方、活用案とともに、電子化に向けた検討のきっかけに！



対話の実践

気候変動・生物多様性タウンミーティング in円山動物園（全3回）

- 動物展示を入りに、生息地の環境変化や気候変動の影響、それらの複雑性を知り、暮らしや社会・経済活動との関わりを考える対話の場として試行
- 各回とも、動物園スタッフによる園内ガイド、生息地についての情報提供を経て、参加者同士の意見交換を実施



第1回 アムールトラ・ユキヒョウ編(11/3)

高山帯や寒帯林の環境、自然と共生する先住民の暮らし、人間活動や気候変動の直接・間接の影響による環境変化を学び、問題解決へのアプローチや動物園の役割について意見交換

ゲスト：伊藤健次さん（写真家）
工藤菜生さん（円山動物園）
参加：19名



第2回 アジアゾウ・オランウータン編(11/16)

ゾウやオランウータンを通して熱帯雨林の開発と私たちの生活との関わりを伝え、パーム油を題材にエシカルな暮らし・経済の可能性について対話

ゲスト：八木亜紀子さん（NPO法人開発教育協会）
朝倉卓也さん（円山動物園）
参加：23名



第3回 ゴマフアザラシ・ワシ類編(11/23)

気候変動の影響を直接間接に受けている北海道の野生生物について考える場として開催

ゲスト：小林万里さん（東京農業大学）
菊池晏那さん（円山動物園）
長谷川理さん（NPO法人EnVision環境保全事務所）
参加：26名



参加者の声

- 今日のガイドや説明を受けて、これまで興味関心が無かった少なかった、とおっしゃる参加者が、強く危機感を持たれたり、問いかけをされていた姿に感銘した。（第1回）
- 動物園という場所で体験と組み合わせることで、その印象や自分ごととして考える動機づけが違っていると感じました。（第2回）

北海道内の主要動物園・水族館の環境教育実施状況の調査把握

道内の他園館への展開の可能性について、ヒアリング調査を実施中（11月末までの実績、順不同） □内は運営者/所在地

- AOA SAPPORO【株式会社 青々/札幌市中央区】
- 旭山動物園【旭川市/旭川市】
- おびひろ動物園【帯広市/帯広市】
- おたる水族館【株式会社 小樽水族館公社/小樽市】
- 新さっぽろサンピアザ水族館【株式会社 札幌副都心開発公社/札幌市厚別区】
- 釧路市動物園【釧路市/釧路市】
- 標津サーモン科学館【標津町（指定管理：（特非）サーモンサイエンスミュージアム）/標津町】
- ノシャップ寒流水族館【稚内市/稚内市】

今後の展望

- 今年度の成果と話題発信に向けて、2025年2月頃地域フォーラムの開催を検討中
- 次年度にかけて場の定着や他園館への展開の可能性を検討していく

※ 動物の写真は円山動物園提供